

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称		令和2年度 未来戦略創出会議(第 8 回)
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		令和 2 年 12 月 24 日(木) 15 時 00 分～15 時 30 分
開催場所		庁議室(本庁舎5階) ※一部の委員・幹事はビデオ通話にて出席
議題		(1)令和 3 年度当初予算案について
公開の 可否	会議	☐ 公開 ☒ 非公開 ☐ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第7条第1項第5号による
	会議録	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	区長・副区長(2)・教育長・政策経営部長・総務部長・危機管理監・施設整備担当部長、区民部長・文化商工部長・環境清掃部長・保健福祉部長・健康担当部長・池袋保健所長・子ども家庭部長・都市整備部長・地域まちづくり担当部長・建築担当部長・土木担当部長・会計管理室長・教育部長・選挙管理委員会事務局長、監査委員事務局長(欠席)、区議会事務局長
	幹事	企画課長・財政課長・行政経営課長・区長室長・広報課長・総務課長
	説明者	財政課長
	事務局	企画課企画調整グループ係長

審議経過

(1) 令和3年度当初予算案について

幹事 資料に基づき、令和3年度当初予算案について説明。

まず、主要な一般財源歳入の推移について説明する。財政調整交付金については、不合理な税制改正及び新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は前年度から約37億円、率にして11%の減収を見込んでいる。なお、リーマンショック時は翌年度より回復の兆しが見られたが、今回はその見込みはなく、東京都は令和3年度も引き続き落ち込むものと予測している。これにより、令和3年度の本区の財政調整交付金についても、約18億円、率にして6%の減収と、2年連続で減収になるとの見込みをたてている。

特別区民税については、課税人口の増加等により、令和2年度は9億円の増を見込んでいるが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響が1年遅れで表れ、21億円の減収と、リーマンショック時を大幅に超える落ち幅になるものと想定している。また、財政調整交付金が減収するとその影響を受けて、翌年に特別区民税も減収となる可能性が高いことから、財政調整交付金が二年連続で減収すれば、特別区民税も令和3年度に続いて令和4年度も二年連続で減収する可能性が高いと見込んでいる。

地方消費税交付金については、飲食業やサービス業などの小売業に基大な影響が生じていることから、令和3年度は7億円減と、大きく落ち込むものと見込んでいる。

このように、本区の基幹歳入の大幅な減収が、この先何年か続くことを覚悟する必要がある。

続いて、現時点での令和3年度当初予算案について説明する。歳出予算総額は、1,308億円で、令和2年度の1,283億円から25億円増を計上している。性質別にみていくと、まだ区長査定中のため、金額は変更になる可能性があるが、令和3年度の新規拡充事業は事業費ベースで30億円を見込んでいる。投資的経費については、173億円と、令和2年度より11億円増を計上している。主な内容としては、市街地再開発事業及び池袋第一小学校の改築工事等である。一般行政経費については、令和2年度の325億円から22億円減の303億円と、大きく圧縮している。基金積立金については、前年度の12億円から27億円と大きく増やしているが、これは将来の行政需要、具体的には義務教育施設や施設の再構築に必要な経費を事前に積み立てる必要があることから、義務教育基金、施設再構築基金にそれぞれ積み立てを行うために増えているものである。繰出金については、精査を重ねた結果、前年比5億円減の100億円である。扶助費は400億円と、前年より微増している。公債費は27億円で前年度とほぼ同額、人件費は248億円と前年度より7億円の減となっている。

続いて歳入予算であるが、令和3年度は前年度と比較して、特別区民税で17億円、財政調整交付金で36億円、地方消費税交付金で13億円と、合わせて66億円もの減収となる見込みである。この額を賄うために、財政調整基金を取り崩す必要があり、現時点での推計で財政調整基金からの繰入金は72億円を見込んでいる。なお、これにより財政調整基金の基金残高は、令和2年度当初予算時点で216億円だったものが、令和3年度当初時点では140億円台でスタートする見込みとなっている。

続いて、令和3年度枠配分予算額・部局別達成状況について説明する。先程も説明したとおり、今後厳しい財政運営を強いられることが予測されることから、今年の予算編成の依命通達時点で、かなり厳しい削減努力を各部局にお願いしたところである。令和3年度の枠内予算編成にあたり、8月時点で提出いただいた収支見通し額は、全部局合計で309億8千万円余の見込みであった。これに対し、例年であればスクラップ額と財政課が査定した執行率見合いによる削減額のみを削減して翌年度の枠配分予算額を決めているが、今回は更に10%のシーリング額を課した。これにより、全部局合計で15億8千万円と、厳しい削減目標額をたてさせていただいたところである。各部局にあらゆる削減努力をしていただいた結果、枠内削減額として5億4千3百万円、枠外の一般行政経費からの削減額として6億円、その他削減額として5億6千万円の合計17億5百万円の削減額を達成し、達成率としては全部局で108%の達成状況となった。

これまで申し上げた通り、令和3年度だけではなく令和4年度以降もコロナが終息しない限りはこういった厳しい財政運営がこの先数年間続くことが見込まれることから、引き続きの努力をお願いしたいと考えている。

区長 今後の財政運営には新型コロナウイルス感染症の状況が多大な影響を及ぼすと考えられるが、今年度はコロナ対策にどれぐらいの経費を要したのか。

幹事 国、都、区が新型コロナウイルス感染症対策として行った事業は、事業費ベースで337億円である。このうち、区が政策主体となって独自に実施したものは、49件で15億7千万円である。

⇒提案のとおり決定する。

会議の結果	(1) 令和3年度当初予算案について → (1) について決定。
-------	-------------------------------------

提出された資料等	・令和3年度当初予算案について
----------	-----------------